

# SHINCHI

## 新地

### 4

広報

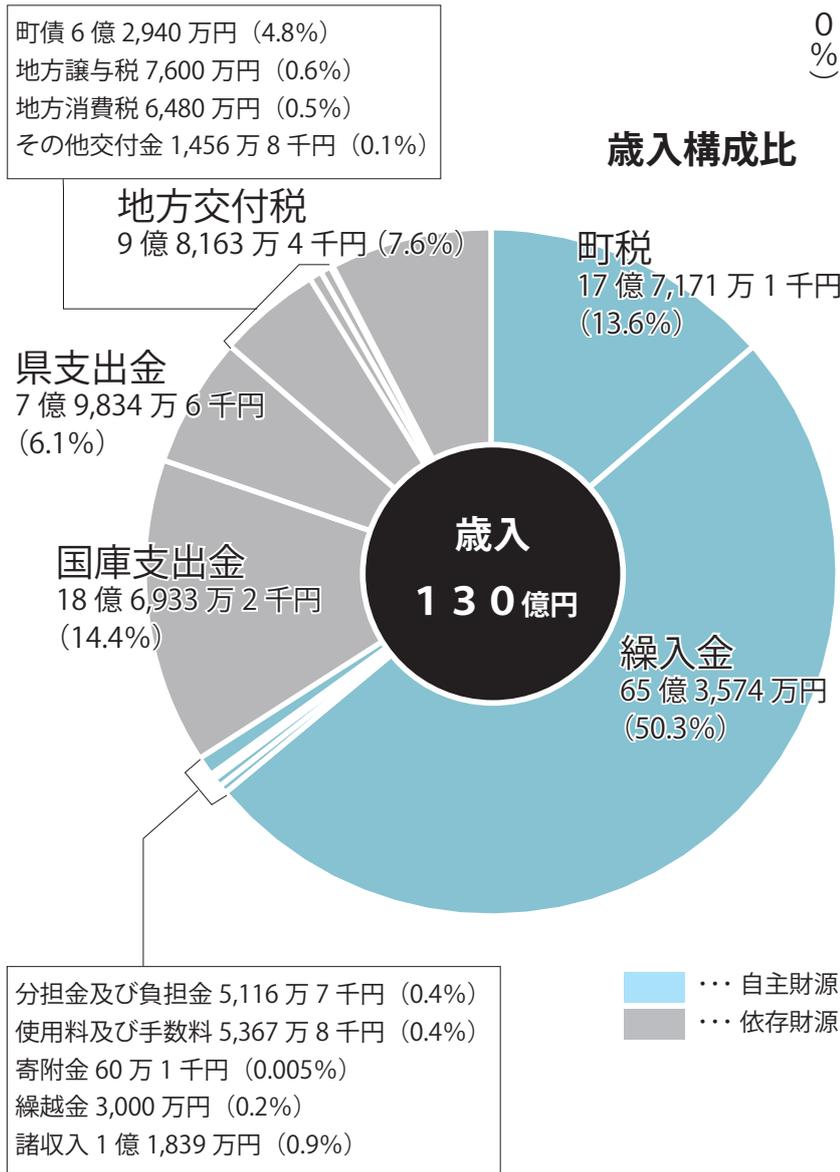


# 復興への取り組みを加速

# 平成25年度 予算編成

平成25年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ130億円で、前年度より11億3,600万円(8.0%)の減となりました。

平成25年度予算は、東日本大震災から3年目を迎えるにあたり、全ての町民が安心して生活できる社会を実現するとともに、「やっぱり新地がいいね」をスローガンに編成しました。新地町は今、復興に向けて新たなステージに歩みを進めています。昨年度の復興元年は、「必ず新地を甦らせる」との思いから、早期の施設復旧と津波により被災された方の早い定住促



## 歳入

一般会計の歳入予算は130億円です。

自主財源の主なものは、町税の17億7,171万1千円と、歳入金の65億3,574万円(うち、復興基金歳入金63億2,856万4千円)です。

国や県などから配分される予算をもとにする依存財源は、国庫支出金が18億6,933万2千円、県支出金が7億9,834万6千円のほか、地方交付税の9億8,163万4千円(うち震災復興特別交付税5億8,373万4千円)などです。

歳入予算に占める割合は、自主財源が65.9%、依存財源が34.1%です。

## 平成25年度 特別会計予算

項目	予算額	前年度当初予算比
国民健康保険	10億8,664万2千円	1億2,636万8千円
介護保険	7億3,464万4千円	9,272万7千円
後期高齢者医療	1億5,952万6千円	1,657万5千円
公共下水道	3億3,220万4千円	7,288万4千円
農業集落排水事業	7,445万7千円	△ 236万9千円
新地南工業団地整備事業	1億2,165万円	△ 1,374万7千円

# 一般会計予算は

# 130億円

進を図るべく、集団移転に向けて一歩ずつ進めて参りました。本年度は、復興への取組みを加速するため、本格的な防災集団移転促進や災害公営住宅整備事業などに69億5,441万円、災害廃棄物処理事業など復旧費に17億8,870万円を計上しました。

## 歳出（主な事業）

歳出は復旧・復興事業を重点とした予算となっています。主な事業として、防災集団移転促進事業、災害公営住宅整備事業、津波地域復興拠点市街地整備事業、道路復興事業などの復興事業が69億5,441万7千円、災害廃棄物処理事業、農業用施設災害復旧事業、公共土木施設災害復旧事業、除染対策推進事業などで21億4,309万4千円です。

また、被災農家の経営再開支援事業、商工会による新地スーパープレミアム復興商品券発行補助などを継続実施します。新規事業として、住宅用の太陽光発電システム設置補助、内部被曝線量を調べるホールボディカウンター検査事業、パイプハウスの園芸産地等復興支援事業、除染により発生する土砂等の仮置場設置事業などに取り組みます。

農林水産業費 3億7,986万1千円 (2.9%)  
 災害復旧費 2億1,766万2千円 (1.7%)  
 消防費 1億5,046万3千円 (1.2%)  
 議会費 9,338万6千円 (0.7%)、商工費 6,130万円 (0.5%)  
 予備費 1,700万円 (0.1%) 労働費 453万4千円、諸支出金 1千円

### 教育費

4億7,351万4千円 (3.6%)

### 公債費

4億8,159万3千円 (3.7%)

### 総務費

6億1,509万4千円 (4.7%)

### 民生費

10億888万9千円 (7.8%)

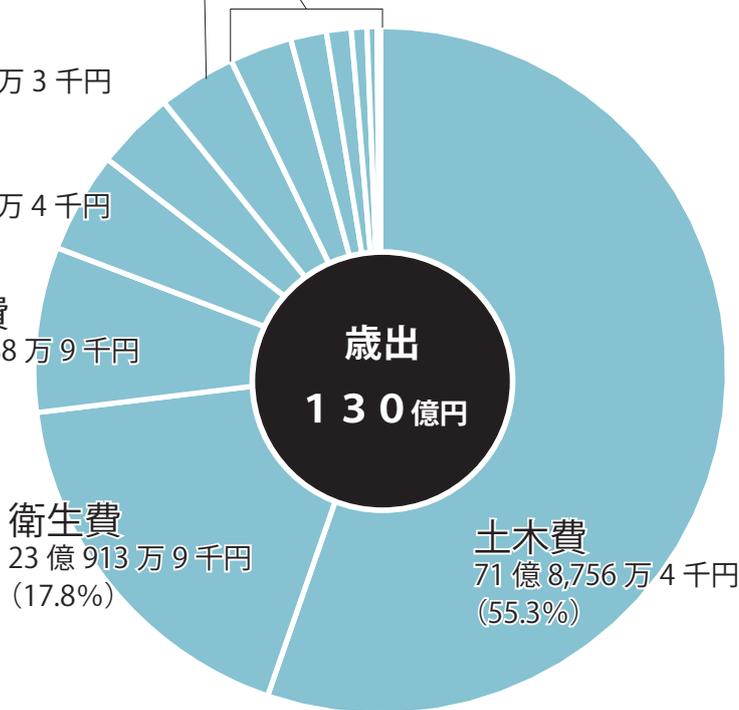
### 衛生費

23億913万9千円 (17.8%)

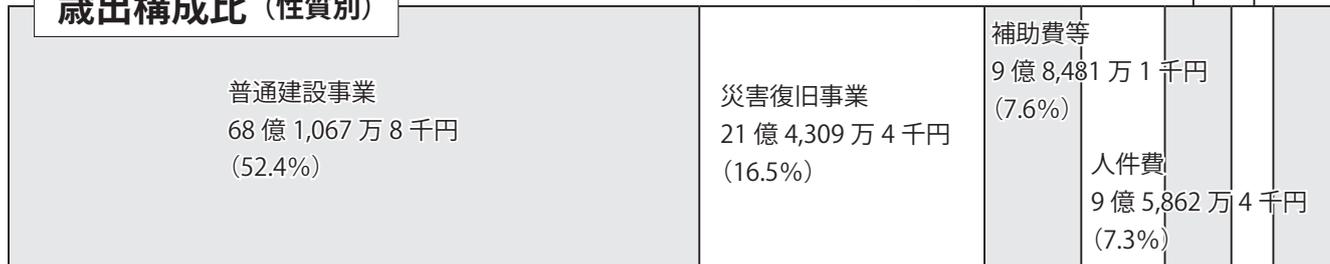
### 土木費

71億8,756万4千円 (55.3%)

歳出構成比（目的別）



## 歳出構成比（性質別）



繰出金 3億7,256万7千円、扶助費 3億4,823万5千円、貸付金 6,798万円、維持補修費 2,451万7千円、積立金 2,164万6千円、投資及び出資金 1,800万円、予備費 1,700万円

# 国立環境研究所と 復興と環境都市で連携・協力



協定を締結し、今後の連携を確認した加藤憲郎町長ら町関係者と  
大垣眞一郎理事長ら国立環境研究所関係者のみなさん

## 基本協定を締結

町は、茨城県つくば市にある独立行政法人国立環境研究所と、復興と環境都市の推進に関して、連携・協力を内容とする基本協定を締結しました。

3月13日に役場正庁で行われた締結式には、国立環境研究所から大垣眞一郎理事長、原澤英夫社会環境システム研究センター長、藤田壮環境システム研究センター室長らが出席。目黒静雄町議会議長並びに武義弘福島県相双地方振興局長の見守る中、加藤憲郎町長と大垣理事長が基本協定書にサインしました。

## 国

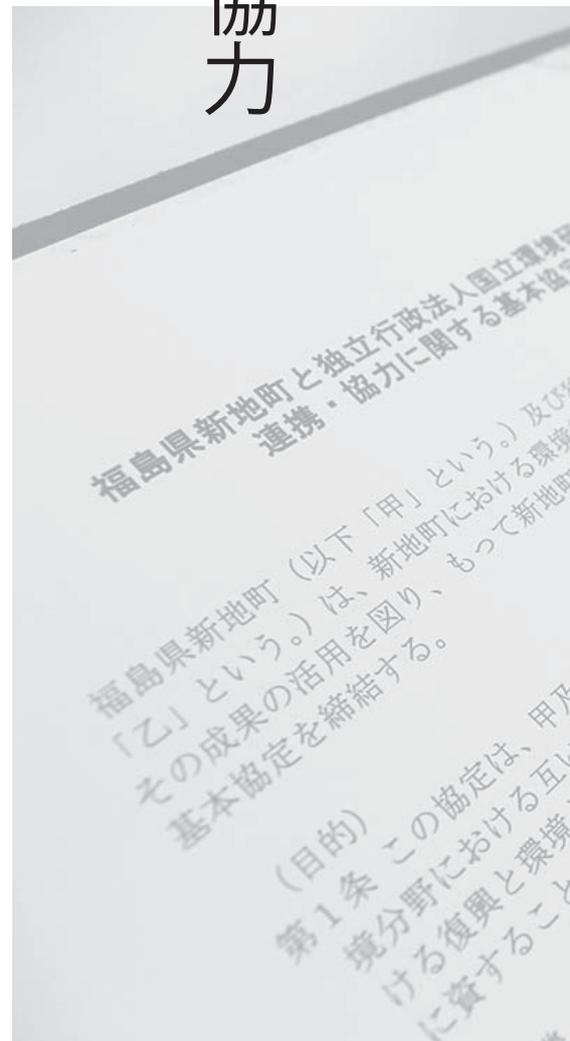
立環境研究所との協定は、新地町復興計画の「みんなが安心して住

み続けることができる新地町の将来像と、希望が必要です」という策定の趣旨から、国の環境未来都市構想に応募し、平成23年12月に選定されたことに始まります。環境都市を目指す中で、国立環境研究所との交流が始まり、その後、環境分野における事業などにおいて様々な助言や提案をいただいてきましたが、そうした関係をより深めたいということ、この基本協定に至りました。

環境都市の暮らしと産業の実現に向けて

基本協定の内容は、お互いの情報・資料・研究成果等の活用、環境分野における人材の育成、研究成果等の地域還元及び普及などです。

再生可能エネルギーの活用をはじめとした環境分野における互いの活動に關し、相互の協力関係を深めつつ、新地町における環境と経済が調和した持続可能な環境都市の暮らしと産業の実現に向け、連携・協力していきます。



# 環境都市町民フォーラムで 課題や可能性を議論



パネルディスカッションで議論する先生方



フォーラム、パネルディスカッションに聞き入る来場者のみなさん

町では、復興と一体となった環境都市の実現に向けて、広く理解と協力の輪を広げ、また、これからの町の方向性について考えていくため、3月25日に「環境と暮らしの未来が見えるまち」をテーマに、環境都市町民フォーラムを開催しました。

## 農

村環境改善センターで開催した環境都市町民フォーラムには、町民など約50人が参加。加藤憲郎町長の主催者のあいさつに続き、基調講演とパネルディスカッションが行われました。

第一部の基調講演は、独立行政法人国立環境研究所の藤田壮先生に、「復興と経済が調和する環境都市新地町」と題して、新地町の環境都市としての可能性などについてご講演を頂きました。

第二部のパネルディスカッションは、コーデイス

ネーターに東京国際大学商学部教授の生井澤進先生、パネラーに新エネルギー経済性研究センター福島大学理工学系客員教授の高仲日出男先生、明治学院大学社会学部福祉学科教授の和気康太先生、そして、独立行政法人国立環境研究所の藤田壮先生で行われました。

各先生の豊富な経験と知識をもとに、新地町の環境都市の実現に向けた夢や課題を、内外の事例などを交えながら、幅広く議論していただきました。

町では、町内の住宅に太陽光発電システムを設置した方に対して、補助金を交付します。システム設置に要する経費の一部を、予算の範囲内で補助するものです。

住宅における自然エネルギーの利用拡大とエネルギーの地産地消を推進し、持続可能な環境都市の暮らしの実現をめざします。

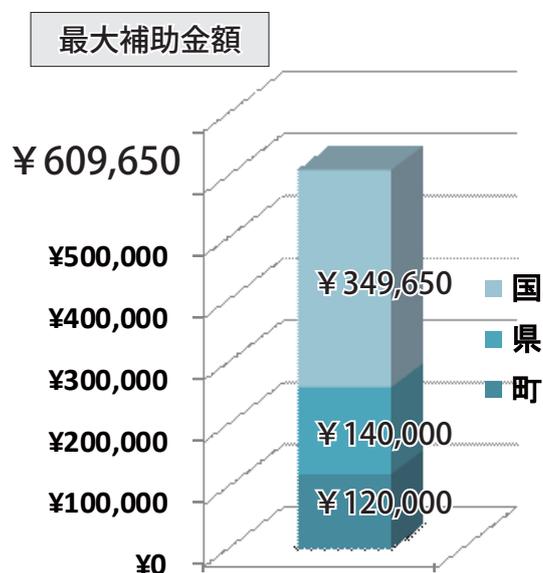
## 補助金額

### 太陽光発電システム公称最大出力1キロワット当たり30,000円

※上限は4.00kWで最大120,000円となります。

例えば、公称最大出力が3.71kWのシステムの場合、

$$30,000\text{円/kW} \times 3.71\text{kW} = 111,000\text{円} \text{ (千円未満は切り捨て)}$$



#### 【最大補助金額 (国、県、町から交付を受けた場合)】

国：上限は9.99kWで最大349,650円、1kW35,000円

(上限は9.99kWで最大299,700円、1kW30,000円)

1kW当たりの補助対象経費 (税別)	1kW当たりの補助金単価
3.5万円を超えて47.5万円以下	35,000円
47.5万円を超えて55.0万円以下	30,000円

県：上限は4.00kWで最大140,000円、1kW35,000円

町：上限は4.00kWで最大120,000円、1kW30,000円

**補助金額合計：609,650円 (559,700円)**

※平成25年3月現在

※1kW (平成24年4月～9月) あたりの平均システム価格は、約48万4千円でした。(太陽光発電普及拡大センターホームページより)

## 申請方法

太陽光発電システムの設置が完了した日 (太陽光発電システムの電力需給開始日) から12ヶ月以内に「新地町住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付申請書」に必要書類を添付し、新地町企画振興課まで申請してください。

※ただし、補助申請総額が予算額に達した場合は、期間内であっても募集を締め切ります。

この補助金を利用して設置した太陽光発電設備は、法定耐久年数 (17年) の期間内は処分することができません。(処分せざるをえない場合は、事前に新地町に対し、処分承認申請書を提出し、承認を受けてください)

# 住宅用太陽光発電システムの設置に補助金を交付します

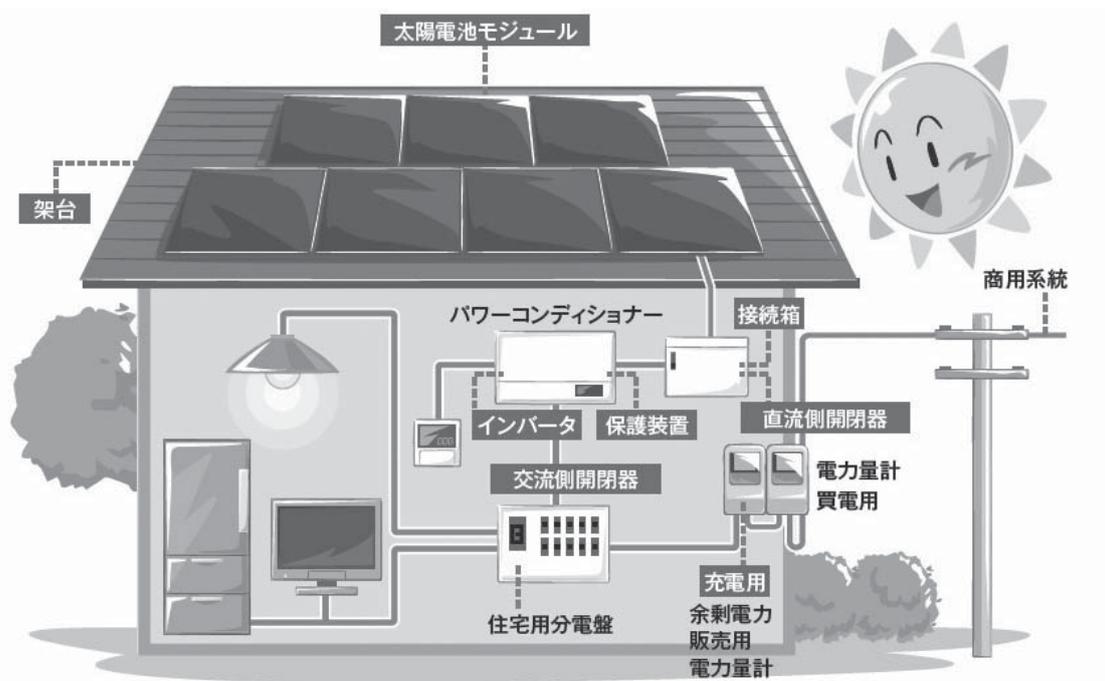
新地町住宅用太陽光発電システム設置費補助金概要

## 対象者（全ての要件を満たす方）

- ①町内に住民票がある方
- ②平成 25 年 4 月 1 日以降に、町内の自らが所有し居住する住宅にシステムを設置する方、またはシステムを設置した住宅を購入する方
- ③電力会社と電灯契約及び余剰電力の販売契約を結んだ方
- ④町税を滞納していない方
- ⑤この補助金を受けたことがない方

## 補助対象となる太陽光発電システム（全ての要件を満たす方）

- ①住宅用であること ただし、店舗等との併用住宅にあつては、住宅部分の床面積が 2 分の 1 以上のものに限る。
- ②未使用品であること
- ③太陽光発電普及拡大センター (J-PEC) による補助金の要件を満たしているシステムであること。  
(福島県再生可能エネルギー推進センターパンフレットより)



※ 4kW システムの場合、太陽電池モジュールの設置面積は約 25 ～ 40m<sup>2</sup> で、重さは架台などの設置部材を含めて 400 ～ 550kg 程度です。

# 町職員の人事異動

町では、4月1日付けで職員員の異動を行いました。異動内容は次のとおりです。( )は前任職場です。

なお、このほかに長崎県諫早市から4名、長崎県島原市から1名、高知県から1名、和歌山県みなべ町から1名、三重県四日市市から1名、福島県から3名、千葉県から1名の職員派遣を受けます。

【課長】  
▽健康福祉課長 荒智春 (税務課長兼固定資産係長事務取扱) ▽税務課長 渡部和秋 (総務課付課長相馬方部衛生組合派遣) ▽総務課付課長 (相馬方部衛生組合派遣) 齋藤充明 (生涯学習課長兼公民館長兼勤労青少年ホーム館長兼総合体育館長兼図書館長兼生涯学習係長事務取扱) ▽建設課長 渡辺祐吉 (建設課主幹兼課長補佐兼下水道係長) ▽町民課長 岡崎利光 (総務課副主幹兼課長補佐兼財政係長 (併) 選挙管理委員会書記) ▽教育総務課長兼生涯学習課長 泉田晴平 (教育総務課副主幹兼課長補佐兼総務学校係長)

【主幹 (課長相当)】  
▽農林水産課主幹兼課長補佐兼農林整備係長 八巻隆 (農林水産課副主幹兼課長補佐兼農林整備係長) ▽課長補佐  
▽税務課副主幹兼課長補佐兼固定資産係長 門馬美恵子 (町民課副主幹兼児童館長) ▽復興推進課副主幹兼課長補佐 小野好生 (建設課副主幹兼課長補佐兼建設係長) ▽町民課課長補佐 佐藤武志 (町民課主任技査兼生活環境係長) ▽総務課課長補佐兼総務係長 (併) 選挙管理委員会書記 佐藤茂文 (健康福祉課主任主査兼福祉係長) ▽都市計画課課長補佐兼都市計画係長 加藤伸二 (都市計画課主任技査兼都市計画係長) ▽教育総務課課長補佐兼総務学校係長 (指導主事) 松本

一宏 (教育総務課総務学校係 (指導主事)) ▽町民課副主幹兼課長補佐兼福田保育所長 伏見よし子 (町民課副主幹兼新地保育所主任保育長) ▽町民課副主幹兼課長補佐兼駒ヶ嶺保育所長 阿部栄美子 (町民課副主幹兼駒ヶ嶺保育所主任保育長) ▽課長補佐相当職  
▽農業委員会副主幹兼事務局次長 森正明 (農林水産課副主幹兼農林水産係長) ▽町民課副主幹兼福田保育所主任保育長 作間美千代 (町民課副主幹兼福田保育所主任保育士) ▽町民課副主幹兼駒ヶ嶺保育所主任保育長 阿部洋子 (町民課副主幹兼駒ヶ嶺保育所主任保育士)

【係長】  
▽健康福祉課主任主査兼福祉係長 大堀勝文 (企画振興課主任主査兼まちづくり振興係長兼環境未来都市推進室主任主査) ▽総務課主任主査兼財政係長 大和田康浩 (総務課主任主査兼総務係長 (併) 選挙管理委員会書記) ▽生涯学習課主任主査兼生涯学習係長 常陸浩一 (生涯学習課主任主査) ▽農林水産課主任主査兼農林水産係長 黒沢賢二 (健康福祉課主任主査) ▽企画振興課主任主査兼まちづくり振興係長兼環境未来都市推進室主任主査 黒沢知子 (生涯学習課主任主査) ▽総務課付主任主査兼係長 (相馬方部衛生組合派遣) 寺島正幸 (健康福祉課主任主査) ▽建設課主任主査兼下水道係長 八巻仁志 (建設課主任主査) ▽町民課主任主査兼生活環境係長 佐藤武伸 (町民課主任主査) ▽建設課主任主査兼建設係長 大友祐介 (建設課主任主査)

【主任主査】  
▽健康福祉課主任主査 後藤茂範 (建設課主任主査) ▽都市計画課主任主査 塩沼亮一 (税務課主任主査) 【主査】  
▽税務課税務係主査 阿部勝也 (会計室会計係主査) 【副主査】  
▽建設課建設係副主査 福島大佑 (農林水産課農林水産係副主査) ▽建設課下水道係副主査 林真一 (健康福祉課保険係副主査) ▽生涯学習課生涯学習係副主査 目黒洋平 (選挙管理委員会書記 (併) 総務課総務係副主査) ▽復興推進課事業係副主査 小野健一 (都市計画課住宅係副主査) ▽選挙管理委員会書記 (併) 総務課総務係副主査 布施辰弥 (総務課財政係副主査) 【主事】  
▽税務課税務係主事 高崎浩孝 (総務課総務係主事) ▽総務課財政係主事 高口雄太郎 (税務課税務係主事) 【新採用】  
▽復興推進課事業係技師

# 新地町職員出前講座

職員出前講座は、町職員が講師になり、町が行っている仕事などについて、みなさんにお話しする事業です。今年度は、下表に掲載した37の学習メニューを準備しました。お気軽にご利用ください。また、メニューがない講座につきましてもご相談ください。

## 利用対象

町内在住または町内に勤務・通学している方10人以上でお申し込みください。開催場所は町内に限りません。

## 申込方法

原則として講座開催希望日の20日前までに、町生涯学習課へお申し込みください。なお、担当課の業務や日程などの都合で、開催日時など希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

## 問い合わせ

生涯学習課（☎②2085）

学習メニュー	担当課
新地町の組織と行政の仕事、新地町の財政について	総務課
現在の選挙制度	選挙管理委員会
統計から見た新地町、まちづくり（総合計画）について	企画振興課
町税のしくみ	税務課
新地町の環境行政（ゴミの状況、ゴミの出し方など）	町民課
しんちの子育て、乳幼児の子育てのポイント 幼児レクリエーション（幼児と遊ぶポイント）	保育所
介護保険制度について、新地町の福祉サービス、国民年金制度の概要 国民健康保険制度の概要、後期高齢者医療の概要	健康福祉課
健康講座（生活習慣病予防など）	保健センター
しんちの農林水産業、しんちの農村整備 経営所得安定対策について	農林水産課
しんちの道路・河川、下水道アラカルト	都市計画課
震災復興と都市計画、地震に強い住まいづくり	都市計画課
議会のしくみ	議会事務局
農地と法律（農地転用・農地の売買・農業者年金・耕作放棄地対策等）	農業委員会
新地町の歴史と文化財、新地貝塚と三貫地貝塚	教育総務課
新地町の生涯学習について	生涯学習課
読書講座、読み聞かせ	図書館
応急手当・AED取り扱い講習、普通救命講習（資格取得） 住宅防火、地震対策	相馬広域消防新地分署
被災者支援「生活支援相談員の活動」 被災者支援「サポートセンターの活動」	社会福祉協議会
介護予防について	地域包括支援センター

荒雄一▽町民課町民係主事  
 〓島孝一▽健康福祉課保険係主事〓佐藤静佳▽農林水産課農林水産係主事〓佐藤貴彦▽町民課福田保育所保育士〓舟口千恵▽町民課新地保育所保育士〓早川華奈衣▽町民課駒ヶ嶺保育所保育士〓目黒英里▽町民課駒ヶ嶺保育所調理員〓齋藤智美

〔退職（平成25年3月31日付）〕

▽水戸薫（町民課長）▽富田いさ子（健康福祉課長）  
 △武者俊一（教育総務課長）▽穴戸富喜夫（総務課付課長社会福祉協議会事務局長）▽荒和之（建設課長）  
 △牛坂毅志（農業委員会主幹兼事務局次長）▽駒木根孝彦（図書館副主幹兼館長補佐兼管理係長）▽本田牧子（町民課副主幹兼課長補佐兼福田保育所長）▽加藤澄子（町民課副主幹兼課長補佐兼駒ヶ嶺保育所長）▽荒よし子（町民課副主幹兼福田保育所主任保育長）▽大須賀けさ子（町民課駒ヶ嶺保育所主任調理員）

# まちの話題

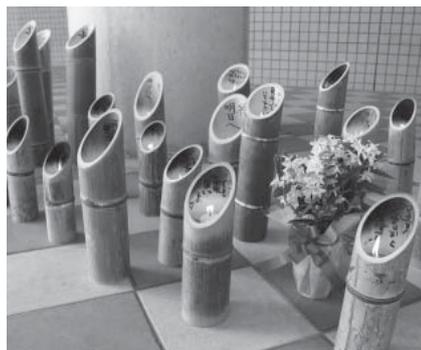


## 2 東日本大震災新地町追悼式 2年目を迎えて 復興への誓い新たに

東日本大震災から2年目を迎えた3月11日、総合体育館で町主催の東日本大震災新地町追悼式が執り行われました。

式には、震災で犠牲となった方々のご遺族をはじめ、町民のみなさん、町関係者ら約500名が参列。式場では、政府主催の追悼式が中継放映され、震災発生時刻の14時46分には参列者全員で黙祷を捧げました。

加藤憲郎町長が式辞を、目黒静雄町議会議長が追悼の辞を述べ、犠牲となった方々に哀悼の意を表しました。





捜索活動に向けて打ち合わせする団員ら

## 強い使命感を胸に 新地町消防団員と福島県警署員

震災による行方不明者の捜索活動が3月9日、新地町消防団と福島県警により町内の沿岸部で実施されました。

東日本大震災から2年目となる11日を前に、町消防団員と福島県警署員ら約300名が一斉に捜索。町消防団は、各班ごとに捜索エリアを分担し、手がかりの発見などにつとめました。



県警と打ち合わせする角田副団長



団員らを激励する加藤恵郎町長



町消防団の指揮をとる後藤一茂団長

## 2 スポーツ激励金交付式 人の中学生の活躍に期待

スポーツ激励金交付式が3月18日、新地町役場で行われ、草刈悠斗くん（宮城県・秀光中）と森智弘くん（尚英中）の2名に激励金が交付されました。

草刈くんは、北海道で開催される『全国中学生空手道選抜大会』に宮城県代表として出場します。

森くんは、フランスのボルドーとパリで行われる『サッカー福島県トレセンU-14フランス遠征』に参加します。



左から草刈くん、森くん、加藤町長

## 地 今泉公会堂が再建 地域コミュニティーの拠点として

東日本大震災の津波で被災した今泉公会堂が再建され、3月24日に落成式が行われました。

式には、菅野修区長（今泉）や地域住民のみなさんが出席し、地域コミュニティーの拠点施設の再建を祝いました。

加藤憲郎町長と斎藤勝利県議会副議長、地元企業の相馬共同火力発電株式会社の青木久彦社長らが祝辞を述べました。

公会堂は、木造平屋建で、宝くじ交付金を活用して再建されました。

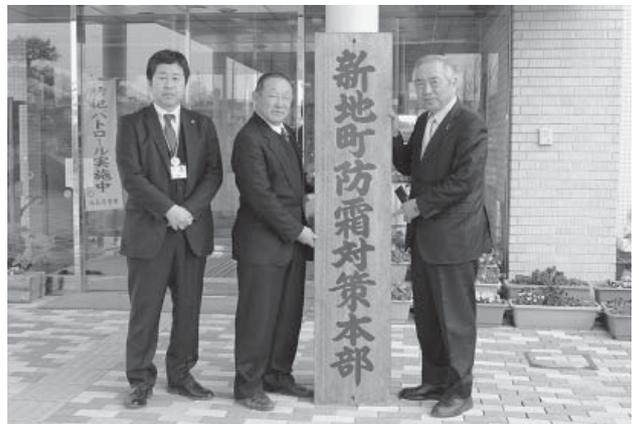


## 尚 スポーツ激励金交付式 尚英ガッツ がんばれ！

スポーツ激励金交付式が3月1日、町役場で行われました。

激励金を受けたのは、3月3日から田村市で開催される第22回福島県小学生バレーボール新人大会に出場する尚英ガッツジュニアバレーボールクラブ。

加藤憲郎町長が「一人ひとり、がんばっててください」と話し、キャプテンの森謙志郎くん（新地小）に激励金を手渡しました。



## 農 防霜対策本部設置 農作物への被害を防ぐ

新地町は3月25日、加藤憲郎町長を本部長として新地町防霜対策本部を設置しました。設置期間は5月31日までです。

霜に関する情報は、防災行政無線で迅速に伝達し、農作物への霜被害の未然防止や被害を最小限に食い止めるための対策を講じます。

写真左からJAそうま新地総合支店の岡田義隆支店長（副本部長）、新地町農業委員会の林功会長、加藤憲郎町長（本部長）

## 楽しい おわかれ会 楽しい おいしい思い出

町内の保育所では、満了を迎える子どもたちのために『おわかれ会』が催されました。

おわかれ会では、調理員さんが手作りしたスパゲティやオムライス、ケーキなど、子どもたちが大好きな料理がふるまわれ、大喜びで、何度もおかわりをする子どもたちの姿が見られました。

新地保育所では、バナナやイチゴなどにチョコレートをつけて食べるチョコレートフォンデュもふるまわれました。



## 福田小の6年生を招待 広畑仮設住宅でいちごを収穫

広畑仮設住宅に隣接する畑で3月19日、いちご狩りが行われました。

畑に作られたビニールハウスの中には、仮設住宅に暮らす方などで組織された「らちはまだいこんの会」が栽培したいちごが鈴なりに実をつけていました。いちごは「あきひめ」と「とちおとめ」の2品種。

この日は、卒業式を前にしていた福田小学校の6年生が招待され、いちご狩りを楽しみました。



## 満了おめでとう 保育所満了式

町内3保育所の満了式が3月28日、各保育所で執り行われました。

今年度は福田保育所で16名、新地保育所で30名、駒ヶ嶺保育所で18名の子どもたちが満了を迎えました。

駒ヶ嶺保育所では、保育証書を受け取った子どもたちが、元気よく将来になりたい職業を発表。見守る保護者の前で、保育所でたくましく成長した姿を披露しました。



# 図書館へ行こう

Let's go to Library

＝新着本のご案内＝

## 4月の読み聞かせ会

日時 4/20 (土) 11時～

図書館ボランティア「スイミー」の皆さんによる  
絵本の読み聞かせなどを行います。

### ◎一般書

『一路 上・下』

浅田 次郎



いざ、江戸見参の道中へ。小野寺一路、19歳。父の不慮の死を受け、御供頭を継いだ若者は、家伝の「行軍録」を唯一の手がかりに、江戸への参勤交代を差配する。『中央公論』連載を単行本化。

『マタニティ・グレイ』

石田 衣良



おおらかな夫、お気に入りのマンション、やりがいのある仕事。しかし編集者の千花子は、予定外の妊娠を機に、正面から人生の見直しを迫られる。戸惑いながらも出産を決意した千花子だったが…。『野性時代』連載を書籍化。

『執着』

堂場 瞬一

『パン屋を襲う』

村上 春樹

『空想オルガン』

初野 晴

『先送りできない日本』

池上 彰

『敗者』

松山 ケンイチ

『126家族の間取り』 エクスナレッジムック

『最高の間取りが欲しい』 エクスナレッジムック

『散歩の樹木図鑑』 岩槻 秀明

### ◎CD

『虹を架けよう～福島バージョン』 Bikkis

『BEST HIT!! SUGASHIKAO

1997-2002/2003-2011』 スガシカオ

『湘南乃風～2023～』 湘南乃風

『てっぺんとったんで!』 NMB48

『TIME』 東方神起

### 図書館カレンダー（4月）

日	月	火	水	木	金	土
					5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	5/1	2	3	4

■は休館日



携帯電話用QRコード

### ◎児童書

『体育館の日曜日』

村上 しいこ／作

田中 六大／絵



体育館でドッジボールをしていたぞうきは、バドミントンのはねから「やる気がない」といわれてしまいます。勝ち負けをきそうのが苦手なぞうきんのために、みんなはぞうきが楽しめるように考えて…。

『天山の巫女ソニン』

てんざん みこ かんなむがい でん かいりゅう 江南外伝 海竜の子

菅野 雪虫



何不自由なく幸せな日々を送っていた少年・クワン。ところが、クワンの落とした首飾りがきっかけとなって、陰謀に巻き込まれていく…。江南の第2王子クワンの過去を描く。落ちこぼれの巫女ソニンの物語のサイドストーリー。

『ロボット魔法部はじめます』 中松まるは／作

わたなべ さちよ／絵

『おばさんのごちそう』 五味 太郎

『できたできたできた 花まる小学生になろう!』

講談社

『ぼくらの恐怖ゾーン』

宗田 理

### 子どもの読書週間

4/23 (火)～5/12 (日)

「たくさん読んで 大きくなあれ」

### お知らせ

4月から

・DVDの貸出を始めます

(注) ご本人の過失による紛失・破損の場合は、同一のDVDを弁償していただくこととなります。図書館で貸出しするDVDには著作権補償金が含まれていますので、市販の価格とは異なりかなり高額となりますので、扱いには十分注意してください。

・ビデオテープ・DVD・CDの貸出期間を

5日間から8日間に変更します。

保育所から  
こんにちは  
福田保育所

保育所であそぼう♪

お庭の桜のつぼみも膨らみ始め、子どもたちの元気な声が保育所に響きます。4月は新しいお友だちを迎えて、新たな保育所生活のスタートです。初めて保育所に来るお友だちは、お家の人と離れて寂しくなるかもしれません。たくさんのお友だちや先生と触れ合う中で、楽しく過ごせるようになっていきます。さあ、みんなでたくさんあそびましょうね！

元気な子どもたち

天気の良い日は、みんなお庭に出てあそぶのが大好き



ワクワク☆ドキドキ☆新年度！

き！のびのびと体を動かして楽しみます。お部屋では、手先を使ったあそびやリズムに合わせて歌ったり踊ったり、いろいろな表現活動もしています。また、季節ごとに交流会や行事も経験していきます。

お友だちと食べると  
おいしいね

こうした普段のあそびの中から、子どもたちはたくさんのお友だちと一緒に行うあそびを経験をする中で、お互いのよさに気づき、共感し合い認め合いながら、日々成長しているのです。「今日は何をしています。

栄養バランスを考えた、メニュー豊富な給食やおやつも子どもたちの楽しみです。体を十分に休めるお昼寝の時間。紙芝居や絵本の読み聞かせのひととき。遊び、食事、睡眠と規則正しい生活リズムの中で、健康的な毎日を過ごしています。

- 4** **入所式**  
4日(木) 各保育所  
**育児相談**  
19日(金) 駒ヶ嶺保育所  
福田保育所  
**交通安全教室**  
23日(火) 新地保育所  
24日(水) 駒ヶ嶺保育所  
25日(木) 福田保育所

**子どものつぼみ**  
おやつの手作りドーナツを  
食べたあとで  
Hくん  
「先生ーこのドーナツ  
どこで売ってるのー？」  
(とってもおいしかったんですね)

母と子の健康 (4月)

健康診査	対象者	日時 (受付時間)
母子手帳 交付	妊娠とわかったら、なるべく早く母子手帳の交付を受けましょう	4月5日(金) 4月19日(金) 9:00~10:00
	10か月児	24年6月・7月生まれ 4月8日(月)
1歳児健診	24年2月・3月生まれ	13:00~13:15
3歳児健診	21年10月~12月生まれ	4月15日(月) 13:00~13:15

◎問い合わせ 保健センター (☎②2096)

4月のたんぽぽひろば

期日	内容	場所
4月10日(水)	開講式	児童館
4月24日(水)	こいのぼりを作ろう	児童館

◎問い合わせ 児童館 (☎②4432)

## 子宮がん検診・骨粗しょう症検診のお知らせ

町では、子宮がん検診（集団・施設）、骨粗しょう症検診（集団）を実施します。まだ申し込みをされていない方で受診を希望する方は、保健センターに電話でお申し込みください。

### 子宮がん検診

対象者 20歳以上の女性

集団検診（自己負担金 500円）

実施月日	受付時間	検診場所
4月18日(木)	9時～10時	勤労青少年ホーム
	13時～14時	保健センター
4月22日(月)	13時～14時	駒ヶ嶺公民館

施設検診（自己負担金 1,500円）

医療機関	検診期間
菅野医院	5月7日～9月30日 (月～土/木曜・土曜の午後は休診)
あらかし産婦人科クリニック	5月7日～6月8日 (月～土/木曜の午後・土曜の午前は休診)
公立相馬総合病院	5月10日～6月28日 (金曜日/13時～15時受付)

※平成25年度は、公立相馬総合病院での子宮がん検診が可能となりました。金曜日の午後のみ診察となりますので、ご希望の方は、保健センターにご連絡ください。(ただし、医師の都合上、休診になる場合がありますので、検診当日に電話での確認が必要となります。)

※70歳以上・がん検診推進事業対象者は自己負担金はありません。

### 骨粗しょう症検診

対象者 40、45、50、55、60、65、70歳の女性

自己負担金 500円（70歳の方は無料）

集団検診

実施月日	受付時間	検診場所
4月18日(木)	9時～10時	勤労青少年ホーム
	13時～14時	保健センター
4月22日(月)	13時～14時	駒ヶ嶺公民館

◎申し込み・問い合わせ 新地町保健センター（☎②2096）

## 暮らしの情報



### 献血にご協力をお願いします

次のとおり献血を実施します。みなさんのご協力をお願いします。

日時 4月15日(月)

10時～16時

場所 新地町保健センター前

◎問い合わせ

新地町保健センター（☎②2096）

### 憩いの家の開館時間が

変わります

新地町憩いの家（商工会となり）の開館時間は、これまで13時～20時でしたが、4月からは9時～16時までとなります。

施設内のお風呂は9時30分～15時まで利用することができます。

※毎週月曜日・木曜日は休館日です。

開館時間 9時～16時

（お風呂は9時30分～15時）

利用料 60歳以上 200円

その他 300円

◎問い合わせ

健康福祉課（☎②2931）

# 東日本大震災等により被災された方へ

## ー 新地町国民健康保険・介護保険からのお知らせ ー

医療費、保険税、介護サービス利用料の免除・減免については、以下のとおりとなります。  
対象となる方は、必ずご確認ください。

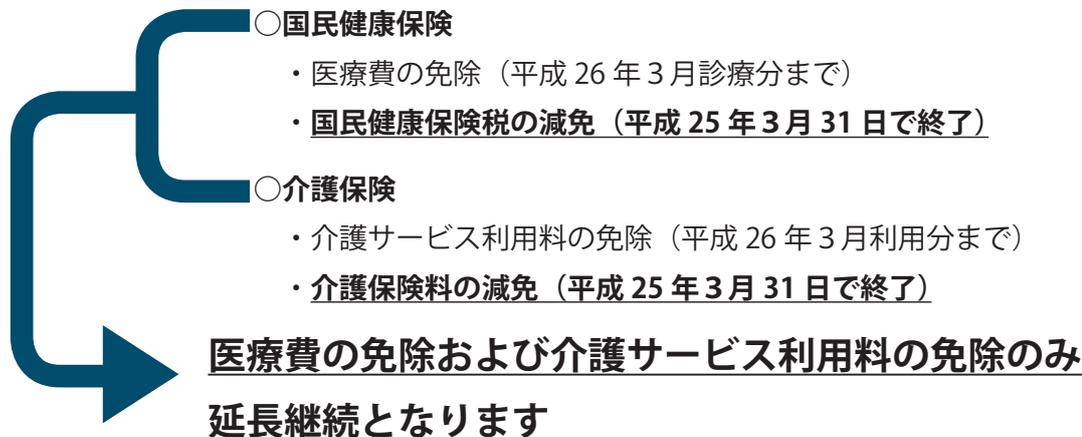
### 免除・減免対象者

- (1) 災害救助法の適用地域や被災者生活再建支援法の適用地域（新地町）住民で、(2) のいずれかに該当する方
- (2) ①住家の全半壊・全半焼またはこれに準ずる被災をした方  
②主たる生活維持者が死亡または重篤な傷病を負った方  
③主たる生計維持者が行方不明の方  
④主たる生計維持者が業務を廃止・休止した方  
⑤主たる生計維持者が失職し、現在、収入が無い方

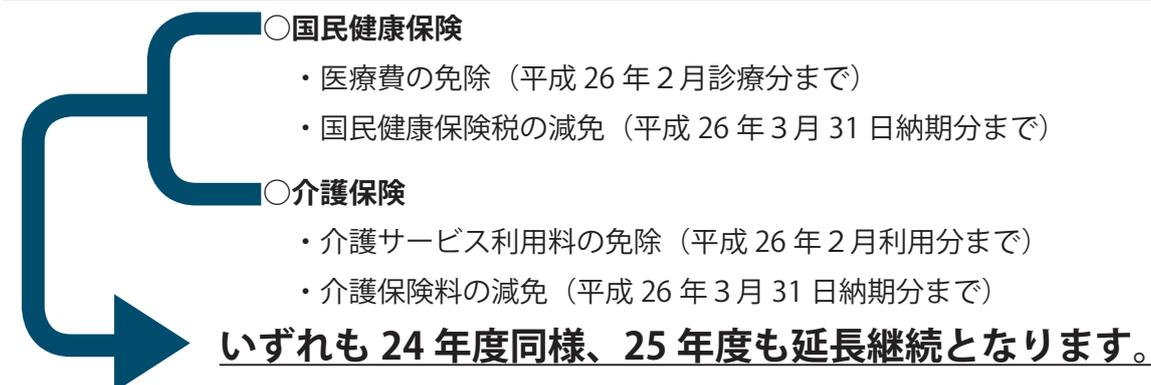
※④および⑤で該当の方は、新たに申請が必要です。

※①～③で該当の方は、申請があったものとみなし、免除証明書を発送しました。

### 地震・津波等で被災した被保険者の方



### 原子力災害で被災した被保険者の方



◎問い合わせ 健康福祉課 (☎2931)

## 花いっぱい運動参加団体募集

新地町観光協会では、潤いのある観光まちづくりのため、花いっぱい運動を行っています。参加希望団体には、種を配布しますので、下記によりお申し込みください。(苗・土は配布しません)

### 申込方法

役場2階企画振興課にある申込用紙に必要事項を記入して、お申し込みください。

**申込期限** 4月19日(金)

### その他

申込多数の場合、希望数量に満たない場合があります。受け渡しは5月上旬の予定です。

### ◎申し込み・問い合わせ

新地町観光協会(企画振興課内) ☎②2112)

## 健康ウォーク

### 『自然の中を歩こう会』開催

町内の名所、旧跡、自然を楽しみながら歩く、「自然の中を歩こう会」を次のとおり行います。家族や友人を誘ってお気軽にご参加ください。

**日時** 4月27日(土) 9時集合

**集合場所** 鹿狼山：ふれあいの森駐車場

### コース

ふれあいの森駐車場～バンビリンゴ団地～真弓清水～バンビリンゴ団地～ふれあいの森駐車場  
周遊(約6.5km)

### その他

- ・昼食は豚汁を用意しています。「花木山」で景色を眺めながら食事します。
- ・当日悪天候で中止の場合は、防災無線でお知らせします。

### ◎申し込み・問い合わせ

健康福祉課 ☎②2931)

## 協働のまちづくりを応援します

町では、行政区や団体が、町と協働して行う地域振興のための事業(協働のまちづくり事業)に対し、補助金を交付しています。

これは、町民の自主的な取り組みを拡大し、町民が主体的に、特性を活かした地域づくりを積極的に進めるものです。補助対象事業、補助金額等は左表のとおりです。

◎申し込み・問い合わせ 企画振興課 ☎②2112)

対象	行政区	団体等 地域振興に寄与する事業を行う団体等で、町民10人以上の構成員を有する組織
事業例	【ソフト事業】 人材育成、広報・PR、福祉、子育て支援、伝統文化の継承、花いっぱい運動、行政区が行うレクリエーション等の活動など 【ハード事業】 生活環境の整備、産業、観光、文化、スポーツ・レクリエーション等の施設および設備の整備事業	
対象事業	行政区の総意による事業として、当該地区住民の理解が得られていること。 行政区内はもとより、広域的な地域振興が図られていること。	総事業費が1件5万円以上で、次に掲げる事業 同一事業2年を限度とし、地域の資源や特性を活かした地域振興のために行う事業。 営利を目的とする事業でないこと。 団体の事業として継続的に取り組むもの。
対象経費	報償費(講師謝礼等)、旅費(研修旅行に要する費用等)、需用費(消耗品費、印刷製本費等)、役務費(通信運搬費・広告宣伝費)、委託費(やむを得ず業者委託する直接工事費等)、使用料および賃借料(会場使用料等)、その他町長が必要と認める経費	
補助金額	補助対象経費の5分の4以内	補助対象経費の3分の2以内
	限度額 ソフト事業 30万円	ハード事業 50万円
	※行政区が行うレクリエーション活動については、毎年度別に定める。	

## 誕生おめでとう

(平成 25 年 2 月 21 日～平成 25 年 3 月 20 日)

(子ども) (親) (地区)

愛 里 鈴木洋輔・早苗 沢 口  
 菜々果 武田智浩・静枝 高 田  
 はる 春 翔 櫻井清貴・真理 埴 浜  
 げん 源 氏 佐々木元気・幸 杉 目  
 あん 杏 珠 山田隆次・裕子 深 町

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

## 平成 25 年 春の全国交通安全運動

4 月 6 日(土)～4 月 15 日(月)

スローガン「ベルトした？ みんなしたよが 合言葉」

### 運動の重点

- 1 自転車の安全利用の推進
- 2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 3 飲酒運転の根絶



## ご冥福をお祈りします

(平成 25 年 2 月 21 日～平成 25 年 3 月 20 日)

(名前) (年齢) (地区)

岩崎こまつ 92 歳 小 川  
 目黒マスヨ 89 歳 新地町  
 小泉 一雄 82 歳 今 泉  
 佐藤ミヨシ 96 歳 鉄炮町  
 荒 トミ子 82 歳 埴 浜  
 齋藤 キチ 93 歳 新地町  
 今野ツルノ 68 歳 大戸浜

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

## 町内の空間線量率調査結果

町では、町内 24 か所で放射線量の独自調査を行いました。

3 月 12 日の測定結果は次のとおりです。(μSv/h)

	測定場所	地表面	測定値
1	福田小学校	土	0.06
2	福田保育所	土	0.06
3	木崎公会堂	土	0.27
4	新地北工業団地	砂利	0.21
5	鈴宇峠県境	砂利	0.32
6	沢口ふれあい広場	芝	0.33
7	狼沢集会所	土	0.26
8	新地小学校	土	0.07
9	尚英中学校	土	0.07
10	新地保育所	土	0.07
11	鹿狼山登山口駐車場	砂利	0.32
12	今泉農集排処理場	砂利	0.10
13	総合公園こどもの森	芝	0.21
14	新地浄化センター	芝	0.32
15	岡公会堂	舗装	0.11
16	杉目集会所	舗装	0.15
17	大戸緑地広場	舗装	0.17
18	新地町役場	舗装	0.11
19	菅谷公会堂	土	0.27
20	駒ヶ嶺小学校	土	0.07
21	駒ヶ嶺保育所	土	0.06
22	大沢北国道 113 号県境	砂利	0.21
23	藤崎公会堂	砂利	0.24
24	富倉公会堂	舗装	0.11

※測定は月 1 回(第 2 火曜日)、地上 1 m

(3 保育所は 50cm の高さ)

## 人の動き

住民基本台帳

人口 / 8,021 人 (－ 5)  
 男 / 3,963 人 (± 0)  
 女 / 4,058 人 (－ 5)  
 世帯数 / 2,582 世帯 (± 0)  
 3 月 1 日現在 ( ) は前月比

## 今月の納税

固定資産税 1 期  
 軽自動車税 全期



尚英中学校卒業式



## 尚英中 93 名が卒業

尚英中学校の卒業式が3月13日、同校で執り行われました。

式では、齋藤栄吉校長から卒業生93名一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

齋藤校長は、卒業生の学校生活を振り返り「地域活動に積極的に参加し、尚英中の名を地域に伝えた。中学校で学んだ3年間に自信と誇りをもち、力強く生き抜いてほしい」と式辞を述べました。

加藤憲郎町長は「現状に満足することなく、地道な努力を重ねながら目標に向かってがんばってください」と卒業生にお祝いの言葉を贈りました。

また、村山正之教育長から卒業生代表の加藤李梨さんに卒業記念品が贈られました。

卒業生を代表して名取達哉くんが「これから始まる新しい生活の中で迷ったときは、先生方を思い出し、一步を踏み出す勇気を奮い起こします」と力強く答辞を述べました。



19名が卒業を迎えた福田小学校

## 小学生 91 名が卒業

町内3小学校の卒業式が3月22日、各小学校で行われました。

24年度の卒業生は3小学校あわせて91名。このうち19名が卒業を迎えた福田小学校では、黒澤雄二校長が卒業生一人ひとりの思い出を話し、「福田小での思い出や家族への感謝を忘れず、中学校でもがんばってください。卒業生が笑顔で元気に活躍することを願っています」と式辞を述べました。

